



DACS-9600Nシリーズ  
Wi-Fi接続説明書 V3

本説明書は2023年10月以降出荷の  
DACS-9600Nシリーズに対応して  
います。

本説明書では DACS-9600N シリーズ  
デジタル入出力/カウンタ/パルス出力の  
各ユニットについて、Wi-Fi接続手順を説明して  
います。

計測ユニット DACS-9600N-H4PW/C2PWを  
ご使用の場合は、本説明書ではなく、  
計測ソフトADG96N取扱説明書をご覧ください

**DACS**

## 目次

1	Wi-Fi接続の概要	2
2	初期設定で接続	3
	(1) 無線LAN機能を搭載した、 Windows11/10 ノートパソコンで モバイル・ホットスポットを設定します	3
	(2) DACS-9600N の電源を入れると	6
	(3) 初期設定での接続確認	7
3	ホットスポットモードで接続	8
	(1) ホットスポットモード用設定ファイルの 編集	8
	(2) 設定実行	9
	(3) ホットスポットの接続確認	10
4	端末モードで接続	11
	(1) 端末モード用設定ファイルの編集	11
	(2) 設定実行	12
	(3) 端末モードの接続確認	12

## 1. Wi-Fi接続の概要

DACS-9600Nシリーズは 2.4GHz帯の無線LANで、パソコンなどと接続します。

接続形式は、① ホットスポットモードと、② 端末モードの2種類があり、どちらか一方のモードを選択して使用します。

### (1) ホットスポットモード

無線LAN機能を実装したノートパソコンなどと、直接に接続するモードです。ホットスポットモードでは、無線LANルータなどの設備は必要ありません。

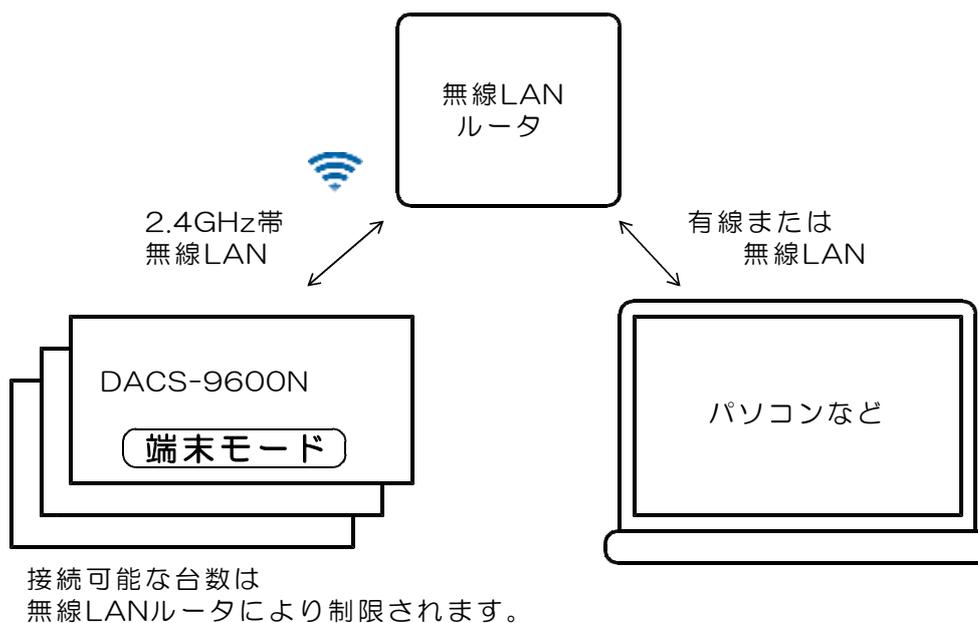
初期設定では、このモードでの接続となります。



### (2) 端末モード

無線LANルータなどがある環境で使用するモードです。無線LANルータに、有線または無線LANで接続しているパソコンと接続して使用します。

1台のパソコンに、複数台の DACS-9600N を接続することができます。



## 2. 初期設定で接続

### (1) 無線LAN機能を搭載した、Windows11/10 ノートパソコンでモバイル・ホットスポットを設定します。

次の手順で、Windows11/10 のモバイル・ホットスポットを設定します。

(ご参考) モバイル・ホットスポットは、Windowsパソコンをインターネット接続のルータとして使用する機能ですが、DACS-9600Nとの接続では、ローカルなルータ機能としてのみ使用します。



ここで、モバイル・ホットスポットの表示がない場合は、パソコンの無線ネットワーク (Wi-Fi) が動作していることを確認してください。

モバイル・ホットスポットの表示画面で、プロパティ→編集をクリックします。すでに、モバイル・ホットスポット機能を使用されている場合は、編集前に、現状の設定内容を、元に戻すためにメモしておいてください。

- (1) ネットワーク名に **d96Nxxxxxx** を入力します。  
xxxxxx の部分は、製品ごとに異なります。  
製品の側面 (アンテナ取付面) にシール添付にて表示しています。
- (2) ネットワークパスワードに **DNxxxxxx** を入力します。  
xxxxxx の部分は、製品ごとに異なります。  
ネットワークパスワードは、Dから始まる8桁の英数字で、  
製品の側面にシール添付にて表示しています。

- 設定を保存します。
- モバイル・ホットスポットをONにします。



次の手順で、モバイル・ホットスポットのIPアドレスを設定します。

コントロールパネルを開きます。



→ すべてのアプリ → Windowsツール → コントロールパネル

スタート

コントロールパネルから「アダプタの設定と変更」を開きます。

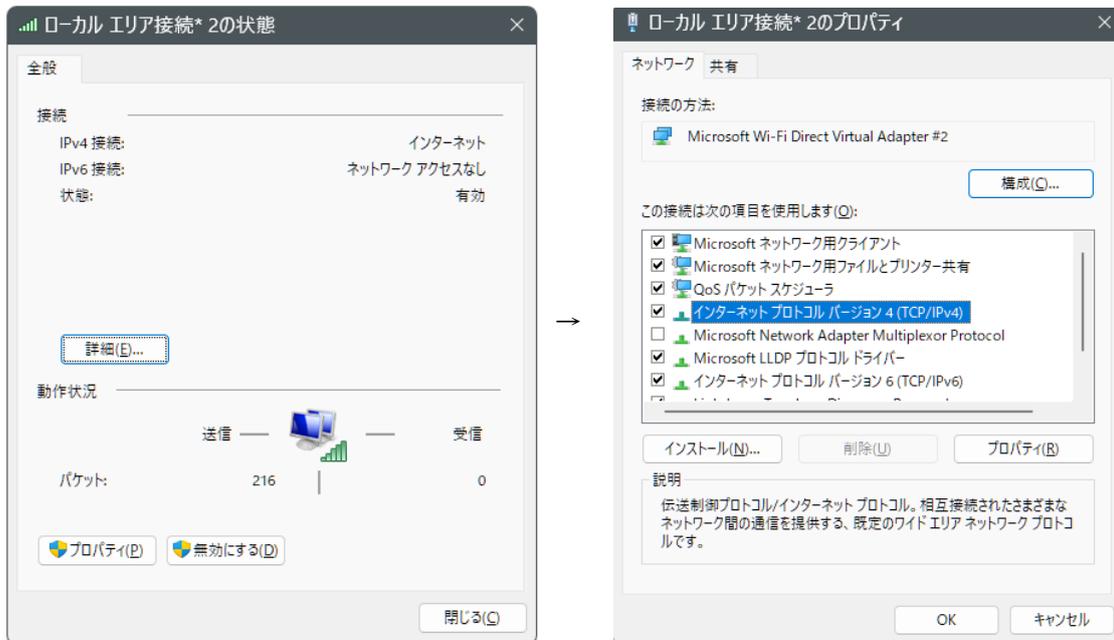
コントロールパネル → ネットワークとインターネット  
→ ネットワーク共有センター  
→ アダプタの設定と変更（左側のメニューにあります）



モバイル・ホットスポットをONにすると、ネットワークアダプタが追加されているのがわかります。上図の例では、ローカルエリア接続2となっています。追加されたアダプタが、どのアダプタかわからないときは、モバイル・ホットスポットを、一旦 OFF として、再びON と操作して比較してみてください。

該当するアダプタをダブルクリックし、開かれる下図（左）で、プロパティをクリックします。

続いて、開かれる下図（右）で、インターネットプロトコルバージョン4（TCP/IPv4）をダブルクリックします。



開かれる右図  
インターネットプロトコル  
バージョン4 (TCP/IPv4) にて

図のように  
○ IPアドレス 192.168.96.1  
○ サブネットマスク 255.255.255.0  
以上を設定します。

(ご参考) DACS-9600Nの  
初期設定IPアドレスは  
192.168.96.10 と  
なっていますので、  
PC側のIPアドレスは、  
10の部分に10以外の、  
例えば1などの数値に  
設定します。

これにて、モバイル・ホットスポットの  
設定は終了です。



\*\*\*\* 重要 \*\*\*\*

パソコンを再起動します。

パソコン起動後は、モバイル・ホットスポットはオフになっていますので、起動の都度、  
下記の手順でモバイル・ホットスポットをオンにしてください。



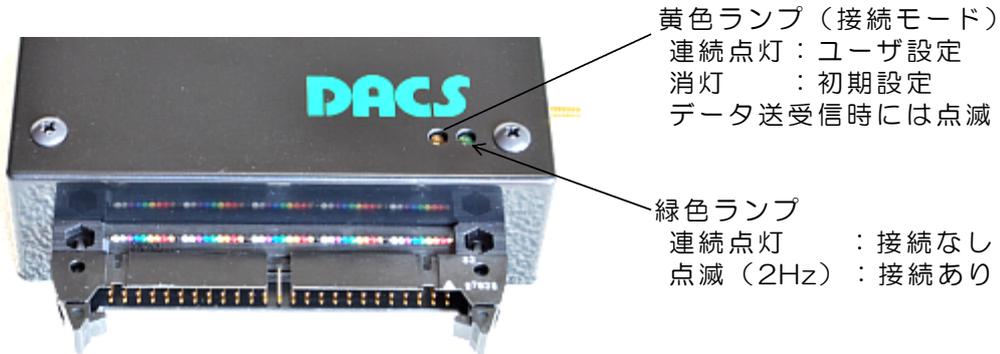
(ご参考) 起動の都度、モバイル・ホットスポットをオンとする手順が面倒なときは、  
以下のショートカットを作成すると便利です。

デスクトップで右クリック→新規作成→ショートカット

**ms-settings:network-mobilehotspot** と入力

## (2) DACS-9600N の電源を入れると

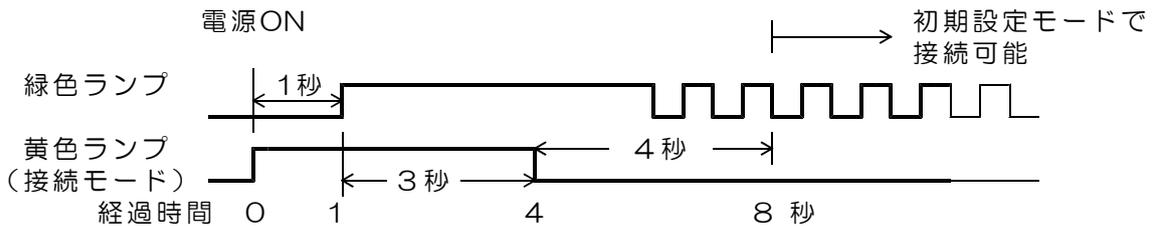
DACS-9600N に、付属のACアダプタを接続して電源を入れると



まず、黄色ランプが点灯し、続いて1秒後に、緑色ランプが点灯します。  
さらに、3秒後に、黄色ランプが消灯し、緑色ランプのみの点灯となります。  
DACS-9600N は、この後、4秒間、初期設定での接続先を検索します。

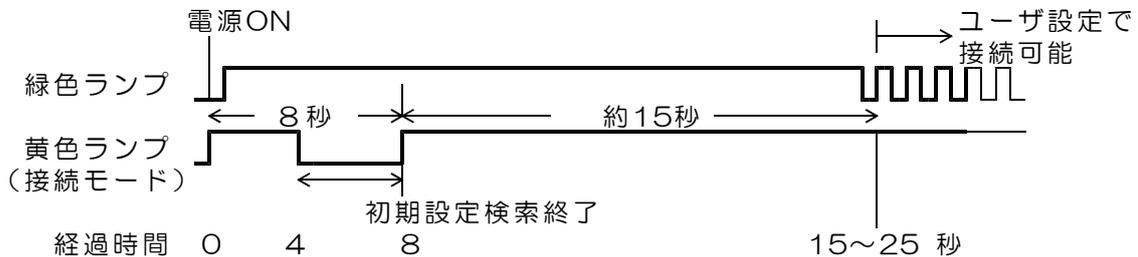
### 初期設定での接続先がある場合

緑色ランプが、約2Hzで点滅します。黄色ランプが消灯して、この状態が継続する場合は、初期設定で接続先のパソコンとつながっています。



### 初期設定での接続先がない場合

緑色ランプ、黄色ランプ共に連続点灯となります。  
その後、ユーザ設定の接続先を検索します。  
ユーザ設定での接続先が見つかったと、約25秒後に、  
緑色ランプが、約2Hzで点滅します。黄色ランプは連続点灯の状態となります。



約30秒経過しても、  
初期設定、ユーザ設定共に接続先がない場合、  
再び、電源投入直後の状態からの検索を繰り返します。

### (3) 初期設定での接続確認

前項までで設定したモバイル・ホットスポットを設定したパソコンを起動し、モバイル・ホットスポットをオンにします。

続いて、DACS-9600N の電源を入れます。  
必ず、パソコンのモバイル・ホットスポットを動作させて（有効にしてから）後で、DACS-9600N の電源を入れてください。

およそ8秒後に、緑色ランプが、約2Hzで点滅します。黄色ランプは消灯した状態となります。

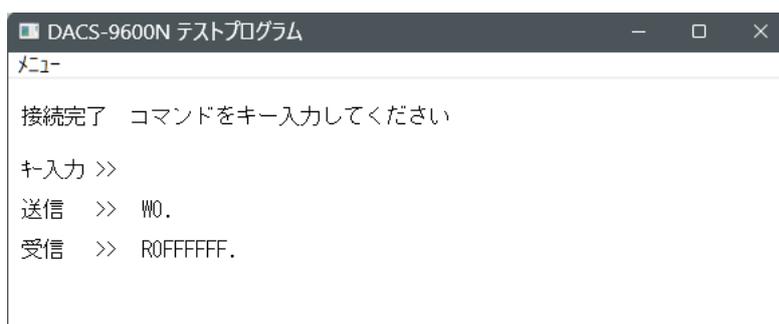
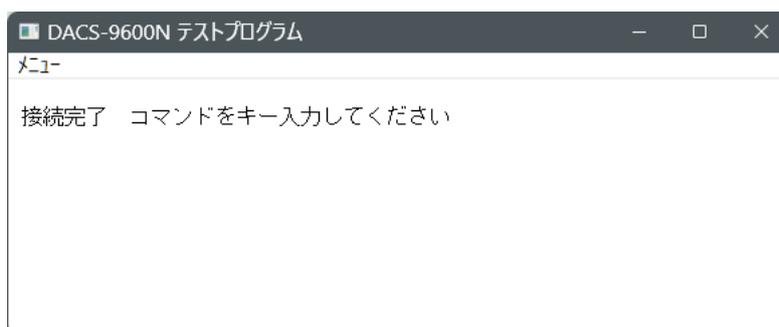
サンプルプログラム D96NDIO.EXE を、たとえば D96NDIO などのフォルダを作成して、この中にコピーし、マウスにてダブルクリックして起動します。このプログラムはダウンロードした dacs9600N\_DIO フォルダにあります。

（ご注意）同一フォルダ内に、  
端末モード用の設定ファイル DACS9600NB.col がある場合は、  
別フォルダに移動するか、ファイル名を別名に変更しておいてください。

接続ができると、右の画面になります。

キーボードから W0 (大文字のW、ゼロ、enterキー) と入力すると  
DACS-9600N から、デジタル入力状態の応答があり、右の画面になります。  
これにて接続が確認できました。

接続ができないと、「接続できません」と表示されますので、このような場合は、パソコンの設定を再度確認してください。



### 3. ホットスポットモードで接続

初期設定で使用する場合は、本項の手順は必要ありません。  
本項の設定を実行しても、初期設定の内容が変わることはありません。

#### (1) ホットスポットモード用設定ファイルの編集

「設定ファイル」と「設定プログラム」を、たとえば D96NDIO などのフォルダを作成して、この中にコピーします。このファイルとプログラムはダウンロードした dacs9600N\_DIO フォルダにあります。

設定プログラム                    D96NCOL.EXE  
設定ファイル（サンプル）        DACS9600NB\_ST.col  
↓  
DACS9600NB\_ST.col のファイル名を、  
DACS9600NB.col に変更します。

設定ファイルの内容を、メモ帳などのテキストエディタで次のように編集し保存します。すでに、パソコン側で、DACS-9600Nの初期設定以外のモバイル・ホットスポットを設定している場合は、パソコン側の設定にあわせて。

データ	コメント
d96N230930	SSID
2	No:0 WPA:1 WPA2:2 WEP:3
DN890E30	Passphrase
1	DHCP:0 Static:1
192.168.96.1	DNS IP Address
192.168.96.1	Gateway IP Address
255.255.255.0	IP Address Mask
192.168.96.40	Device IP Address

行数とデータの行位置は変更しないでください。  
各行の後半はコメントです。データとコメントとは、1個以上のスペースで分離しています。  
各行のデータには、先頭から終了位置まで、スペースを含めないでください。  
コメント欄の記述は自由。

- 1行目 | データ例のようなSSIDを、数字とアルファベット（半角文字）で設定します。  
設定するIDは、パソコンのモバイル・ホットスポットのネットワーク名に設定する名称と同じにします。  
\*\*\*\* 重要 \*\*\*\* 初期設定とは異なる名称にしてください。
- 2行目 | セキュリティの種類を指定します。通常は 2 とします。
- 3行目 | データ例のようなセキュリティーキーを、数字とアルファベット（半角文字）で指定します。  
設定するセキュリティーキーは、パソコンのモバイル・ホットスポットのネットワークパスワードに設定する名称と同じにします。

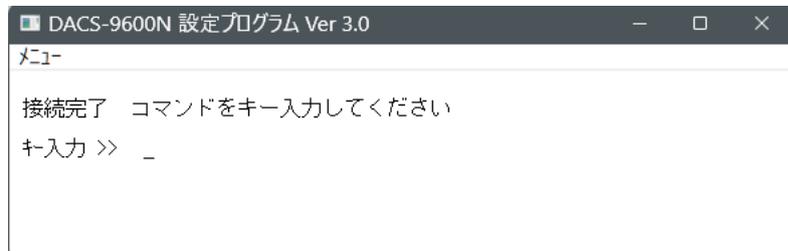
- |     |  |
|-----|--|
| 4行目 | 固定IPアドレスで使⽤します。1 のまま変更しないでください。  |
| 5行目 | <b>DNSアドレス</b><br>パソコンのモバイル・ホットスポットで指定したIPアドレスを指定  |
| 6行目 | <b>デフォルトゲートウェイ</b><br>パソコンのモバイル・ホットスポットで指定したIPアドレスを指定  |
| 7行目 | このまま変更しないでください。  |
| 8行目 | <b>デバイスに割振るIPアドレスを指定してください。</b><br>192.168.96.xxx<br>xxx は、0~255の範囲で空いているアドレスを指定します。<br>モバイル・ホットスポットでパソコン側に割当てたアドレスは、除外します。<br>複数のデバイスを使用するときは 40, 41, 42, ---のように割振ります。<br>本例の 96 の部分は、パソコン側のIPアドレス設定と同じにします。 |

## (2) 設定実行

設定プログラム D96NCOL.exe のあるフォルダに、適切に編集した設定ファイル DACS9600NB.col があることを確認してください。

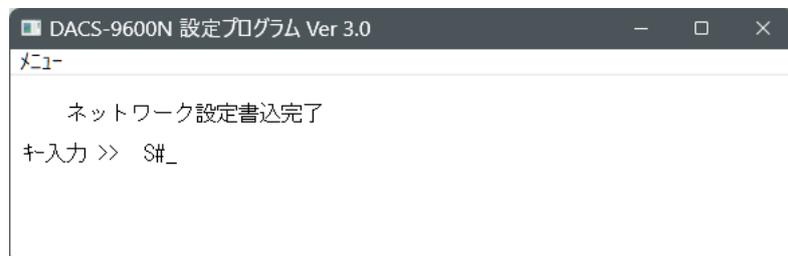
- ① **DACS-9600Nの初期設定での接続用に設定した**パソコンのモバイル・ホットスポットをONにします。設定方法は、2.項「初期設定で接続」をご覧ください。
- ② DACS-9600N の電源を入れ、初期設定で接続しているときは、約8秒ほど待って、緑色ランプが、毎秒2回程度の規則的な点滅となるのを確認してください。黄色ランプは消灯となります。すでに、初期設定以外で接続している場合は、黄色ランプが点灯し、20秒ほどで、緑色ランプが点滅となります。

- ③ D96NCOL.exe を起動すると、右の画面となります。  
すでに、初期設定以外で接続している場合は、デバイスに設定しているIPアドレスを入力します。



- ④ S# とキー入力します。  
enterキーは入力しないでください。

書込中は書込中のメッセージを表示し、書込み実行後、正常終了すると「ネットワーク設定書込完了」と表示します。

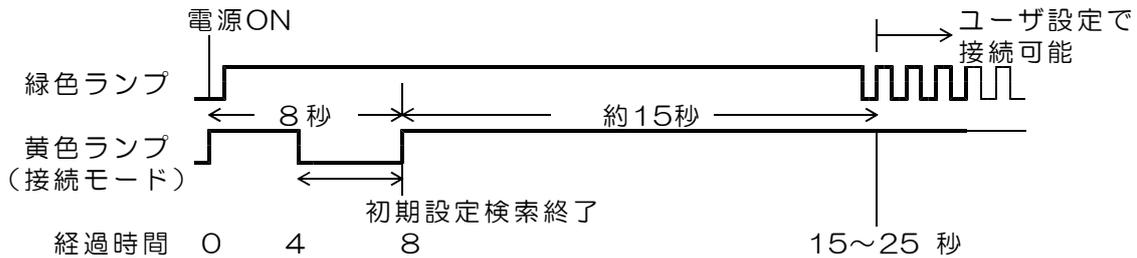


- ⑤ 設定プログラムを終了してください。

**(重要)** 設定ファイル DACS9600NB.col は、サンプルプログラムが、端末モードで動作する場合に必要となりますので、設定実行後も、フォルダから削除しないようにしてください。

### (3) ホットスポットモードの接続確認

- ① パソコンのモバイル・ホットスポットを設定します。  
設定方法は、2.項「初期設定で接続」の設定手順と同じですが、**ネットワーク名、ネットワークパスワード** は、DACS9600NB. col の内容と同じにします。**IPアドレス** は、195.168.96.1 などとします。96 の部分は、デバイスに設定した数値と同じとします。1 の部分は、デバイスに使用していない数値とします。
- ② モバイル・ホットスポットONにします。
- ③ DACS-9600N の電源を入ると、緑色ランプ、黄色ランプ共に連続点灯となります。その後、接続先を検索します。接続先が見つかると、約25秒後に、緑色ランプが、約2Hzで点滅します。黄色ランプは連続点灯の状態となります。



#### ④ 動作確認

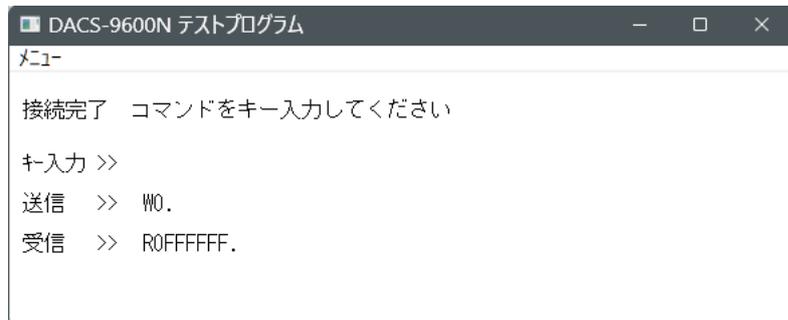
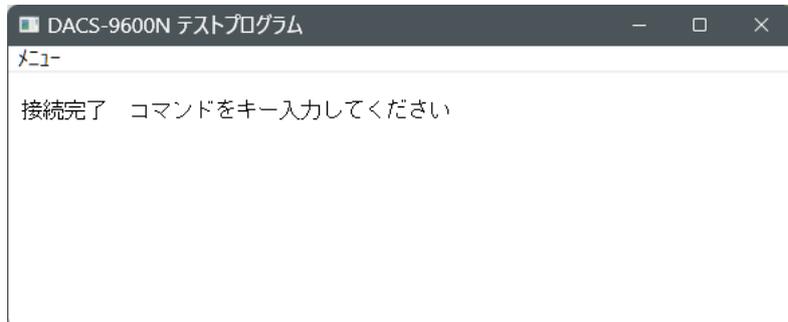
サンプルプログラム D96NDIO. EXE を、たとえば D96NDIO などのフォルダを作成して、この中にコピーし、マウスにてダブルクリックして起動します。このプログラムはダウンロードした dacs9600N\_DIO フォルダにあります。

(ご注意) 同一フォルダ内に、設定に使用したファイル DACS9600NB. col が必要です。

接続ができると、右の画面になります。

キーボードから W0 (大文字のW、ゼロ、enterキー) と入力すると DACS-9600N から、デジタル入力状態の応答があり、右の画面になります。これにて接続が確認できました。

接続ができないと、「接続できません」と表示されますので、このような場合は、パソコンの設定を再度確認してください。



## 4. 端末モードで接続

初期設定で使用する場合は、本項の手順は必要ありません。  
本項の設定を実行しても、初期設定の内容が変わることはありません。

### (1) 端末モード用設定ファイルの編集

「設定ファイル」と「設定プログラム」を、たとえば D96NDIO などのフォルダを作成して、この中にコピーします。このファイルとプログラムはダウンロードした dacs9600N\_DIO フォルダにあります。

設定プログラム                    D96NCOL.EXE  
設定ファイル（サンプル）        DACS9600NB\_ST.col  
↓  
DACS9600NB\_ST.col のファイル名を、  
DACS9600NB.col に変更します。

設定ファイルの内容を、メモ帳などのテキストエディタで次のように編集し保存します。

データ	コメント
xxxxxxxxxxxxx	SSID
2	No:0 WPA:1 WPA2:2 WEP:3
xxxxxxxxxxxxx	Passphrase
1	DHCP:0 Static:1
192.168.0.1	DNS IP Address
192.168.0.1	Gateway IP Address
255.255.255.0	IP Address Mask
192.168.0.40	Device IP Address

行数とデータの行位置は変更しないでください。  
各行の後半はコメントです。データとコメントとは、1個以上のスペースで分離しています。  
各行のデータには、先頭から終了位置まで、スペースを含めないでください。  
コメント欄の記述は自由。

- |     |  |
|-----|--|
| 1行目 | 接続する無線LANルータの SSID を指定します。<br>ご使用の無線LANルータにシール添付などで表示してあります。           |
| 2行目 | セキュリティの種類を指定します。通常は 2 とします。  |
| 3行目 | 接続する無線LANルータのセキュリティーキーを指定します。<br>ご使用のルータでは、プロテクトキー、暗号化キーという名称にもなっています。 |
| 4行目 | 固定IPアドレスで使用します。1 のまま変更しないでください。  |
| 5行目 | DNSアドレス                    通常は無線LANルータのアドレスを指定                         |
| 6行目 | デフォルトゲートウェイ        通常は無線LANルータのアドレスを指定                                 |
| 7行目 | このまま変更しないでください。  |

- 8行目 | デバイスに割振るIPアドレスを指定してください。  
192.168.xxx.yyy  
xxx は無線LANルータと同じ値とします。  
yyy は、0~255の範囲で空いているアドレスを指定します。  
無線LANルータのDHCPが自動割当をする範囲も避けてください

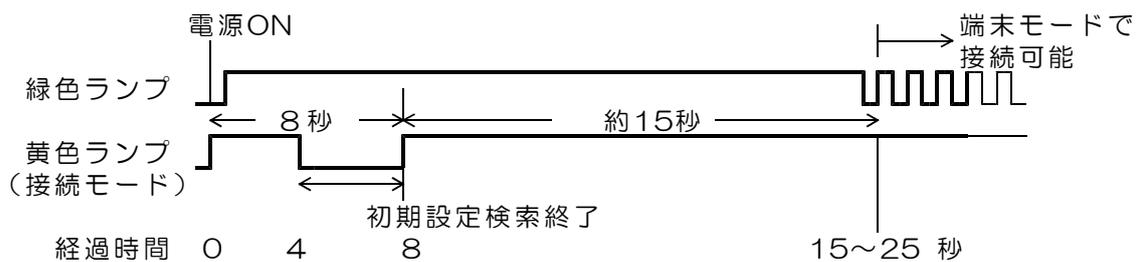
## (2) 設定実行

設定プログラム D96NCOL.exe のあるフォルダに、適切に編集した設定ファイル DACS9600NB.col があることを確認してください。

設定方法は、3項(2)と同じです。

## (3) 端末モードの接続確認

- ① 接続先の無線LANルータが動作していることを確認してください。
- ② DACS-9600N の電源を入れると、緑色ランプ、黄色ランプ共に連続点灯となります。その後、接続先を検索します。接続先が見つかると、約25秒後に、緑色ランプが、約2Hzで点滅します。黄色ランプは連続点灯の状態となります。



- ③ ネットワークに接続しているパソコンを起動します。

以後の確認方法は、3項(3)と同じです。

(完)

製造販売	
ダックス技研株式会社 ホームページ	<a href="https://www.dacs-giken.co.jp">https://www.dacs-giken.co.jp</a>

DA96NDIO23A01A